

< CIEC 第 56 回研究会報告 >

テーマ：「大学の情報教育における『2006年問題』について考える

日時：2005年11月19日（土） 16:00～19:00

会場：大学生協杉並会館 5F ダイニングルーム

報告者： 辰巳 丈夫（東京農工大学 総合情報メディアセンター）

平野 伸彦（横浜国立大学生協専務理事／

大学生協東京事業連合 教材・学習用 PC プロジェクト委員長）

参加：41名（大学教員・職員、小中高教員 14名、大学生・大学院生 3名、生協職員 24名）

●開催趣旨

「2006年問題」まであと1年となりました。2003年度の学習指導要領改訂により、高等学校において新たに普通教科「情報」が新設され、必修科目となったことはご承知の通りです。2006年は、教科「情報」を3年間学んだ新生が初めて大学に入学してくる年となります。これに伴い、大学における情報教育がこれまで以上に大きく変化することが予想されます。これがいわゆる「2006年問題」です。

CIEC 生協職員部会ではこの数年にわたり、大学におけるパソコン必携化の状況と大学生協のパソコン提案活動について研究会を開催してきました。2005PC カンファレンス開催地企画「PC 必携化時代の教育／教育環境を考える」では、以下の様な感想文が寄せられています。

「来年から情報科目を履修した新生が本格的に入学してきます。その点とPC 必携化を考えたときに、これから大学生協は何をするべきなのか？」（生協職員）

これまでの到達点を踏まえて、第59回研究会では、「大学の情報教育における『2006年問題』について考える」をテーマに、実際の高校における教科「情報」の現状について学ぶとともに、教科「情報」を学んだ新生が入学するにあたって、大学の情報教育がどのように変化していくかを展望します。またそういった大学の情報教育や新生のスキルの変化に際して、大学生協としてどのようなパソコンの提案、サポートを行っていくことが必要かについて考えます。（以上開催案内文より抜粋）

まず、東京農工大学の辰巳先生より、教科「情報」の現状についてご報告をいただきました。先生は情報処理学会内の情報処理教育委員会で、シンポジウム「高校教科『情報』の現状と将来」の企画運営に参加されており、主にシンポジウム内で話された事を元にご報告をいただきました。

現在の小中高で行われている新課程の学生が入学する事により、2008年、2014年などにより大きな節目が来ること、また現状のネットワーク環境と内容の不整合、教科「情報」と他教科の組み合わせ方法についての齟齬についての状況や、単純なプログラミングのテクニックではない「手順的な自動処理の体験」について情報処理学会の提言をより深めていただきました。

次に平野専務より、大学生協のパソコン提案活動の到達点とコンセプトについてご報告を頂きました。平野専務は、昨年より大学生協東京地区の教材・学習用 PC プロジェクトの委員長として、機種選定

や講習会・サポートのあり方など、大学生協が新生に PC を提供するにあたっての議論全般の座長をされております。大学生協が取り組んできたパソコンの歴史から始まり、現在のコンセプト、そして2006年への進み方について実例を交えながらご報告を頂きました。

質疑では以下の様な質問・意見が出されました。

国連の100ドルパソコンの様な、安価なパソコンが利用できないかどうかの可能性についての意見交換があり、考え方としては可能性があるが全国で統一した物を大学生協で提案できるかどうかは難しいかと思われまます。学生の参加者からは、新生だけではなく過去にパソコンを購入した学生へのフォローを含め、もっと学生が身近にパソコンを使える状況を作りたいとの意見がありました。

生協職員からは、入学する学生のスキル差は一層激しくなる環境の中で、講習会等の内容の作り方について更に吟味する必要があること、また「情報」で学んだとはいえ管理者から与えられた環境を利用してきた学生に自分のパソコンをどう「管理」するのか学んでもらう事についての必要性が出されました。大学の教員からは、学生がパソコンを利用することに際しての考え方がはっきり見えておらず、そもそもどういふ学生を社会に送り出したいのかがはっきりしていない事等が意見として出されました。

参加者のアンケートからは、現状を知ることができて良かった、今後より深く調べていく必要があるといった意見が多く見られました。

今後入学してくる学生の状況、特にこれから学生に対して必要と思われる事が交流され、今後学生に対して必要な事の方があらわれた研究会であったと思います。今後、より状況を深く交流し、学生にとって必要なサポートを実現していく為の活動へ踏み出していくことが重要と考えられます。

以上